
人工知能学会 市民共創知研究会（SIG-CCI） 第1回研究会 発表募集



市民共創知研究会の概要

このたび、人工知能学会 第二種研究会「市民共創知研究会」が新たに発足致しました。

本研究会では、市民の共創や協働により創発される集合知や、研究者と市民の共創を扱います。研究会開催地域のコミュニティに積極的に働きかけ、中高生や高齢者を含む市民と研究者との対話や共創を試行する場を提供します。本研究会の詳細については、以下をご参照ください。

<http://www.itolab.nitech.ac.jp/SIG-CCI/>

第1回研究会は、下記の要領で岩手県遠野市にて開催致します。研究者と遠野市民が同じ壇上で取り組みを発表し、混じり合っ対話することで新たな共創の可能性を模索する場に致します。この研究コミュニティでは、地域社会での実践的な市民共創知の創造や支援について研究を進められる場を、新たに創っていきます。今回の研究会では、(1) 市民との協働・共創による新たな研究プロジェクトを模索する共創対話セッション、(2) 遠野地域の特色（馬／食／郷土芸能／陶芸）を学べる現場でのフィールドワーク、(3) 市民と研究者が同じ壇上で口頭発表する発表・対話セッション、という3つの企画すべてにご参加頂きます。どうぞ、奮ってご参加ください。

（特別なご事情による部分的な参加に関しては、研究会オーガナイザまでご相談下さい。）

第1回研究会開催要領

日時：2016年11月25日（金）～11月27日（日）

会場：岩手県遠野市 遠野ふるさと村 川前別家

会場URL：<http://www.tono-furusato.jp/ennai/kawamae.html>

会場への交通アクセス：<http://www.tono-furusato.jp/access/>

（新花巻駅や花巻空港からシャトルバスでの送迎を予定しています）

主催：人工知能学会 市民共創知研究会 (SIG-CCI)

共催：遠野市

発表／参加申込締切：2016年10月20日（木）**11月7日（月）（延長しました）**

※宿泊予約のとりまとめのため、早期の参加申し込みにご協力ください。

参加申込フォーム：<http://bit.ly/sigcci2016-regist>

原稿投稿締切：2016年11月14日（月）

参加費：市外からの参加者は宿泊費2泊分他を含めて2万2千円を予定（夕食代を除く）

遠野市内からの参加者は無料（食事代は実費頂きます）

日程（予定、変更の可能性あり）

11月25日（金）

12:30～17:00 フィールドワーク

- ・ 12:30に花巻空港または新花巻駅に集合，詳細は参加登録後に追ってご連絡します
- ・ 遠野市立博物館：<http://tonoculture.com/tono-museum/>
- ・ 伝承園：<http://www.densyoen.jp/>
- ・ その他，遠野地域の特色（馬／食／郷土芸能／陶芸）を学べる現場

17:00～民泊

- ・ 「民泊」とは，遠野で広く普及している宿泊形態の一種です。ホテルや旅館ではなく，一般の民家に宿泊します。住民との触れ合いを通じて，遠野の人々や暮らしについて深く学習できる場です。一般家庭への宿泊ですので，宿泊に必要な道具は持参いただくようお願い申し上げます。

11月26日（土）

8:30～9:00 受付

9:00～9:30 オープニングトーク



名古屋工業大学 情報工学科 教授 伊藤孝行

9:30～9:45 ウェルカムトーク

遠野市副市長 飛内雅之

9:45～10:15 発表者によるライトニングトーク

10:15～10:30 事務連絡, 発表準備

10:30～11:45 発表・対話セッション1

11:45～12:45 ランチセッション

子ども語り部の参加を予定

12:45～14:00 発表・対話セッション2

14:00～15:15 発表・対話セッション3

15:15～16:30 発表・対話セッション4

16:30～19:00 デイナーセッション

19:00～ 宿泊施設へ移動



11月27日 (日)

9:00～11:30 共創対話セッション・共創テーマ発表

11:30～12:00 表彰式

参加・発表申込方法

参加・発表申込

- 2016年10月20日(木)-11月7日(月) (延長しました) までに、下記URLの参加申込フォームから参加申込をして下さい。
<http://bit.ly/sigcci2016-regist>
- 発表をご希望頂いた方には、市民共創知プロジェクトの進め方について後日ご連絡差し上げます。
- 発表原稿をご提出頂ける発表者の方は、下記の原稿投稿に関する説明をご参照下さい。

原稿投稿

原稿執筆案内: <http://www.itolab.nitech.ac.jp/SIG-CCI/submission.html>

- A4 1～6ページ程度 (最大8ページまで)
- 人工知能学会 研究会スタイルファイル/Wordテンプレートをご利用ください。
<http://www.ai-gakkai.or.jp/sig/sig-style/>
- 完成原稿はPDFに変換した上で、2016年11月14日(月)までに、下記URLの原稿投稿システムからご投稿下さい。
<http://bit.ly/sigcci2016-submit>

論文公開形式

発表論文は「人工知能学会 AI書庫 (アイショコ)」 (<https://jsai.ixsq.nii.ac.jp/>) に「オープンアクセス」での掲載となります。原稿のウェブ公開にあたり特別な配慮が必要な場合 (知的財産権など) は、下記問い合わせ先までその旨ご連絡ください。

お問い合わせ先:

Email: siramatu@nitech.ac.jp (名工大白松)

Tel: 052-735-7968 (名工大伊藤孝行研究室)



発表時間

質疑応答を含まず15分 (ただし、発表件数によって若干の変動があります)

募集テーマ

- 地域社会やオンラインコミュニティ等で創発され



る共創知や集合知の事例

- 市民の共創や協働を支援する技術
- 市民と研究者・技術者の共創や協働の事例
- より大きな集合知に繋がるような地域横断的な取り組み事例やそのための支援技術
- その他, Sharing Economy, 合意形成, 市民参画, シビックテック, フリーイノベーション, オープンイノベーション, クラウドソーシング, シビックテック, オープンデータ, オープンサイエンス, オープンガバメント, スマートシティ, オンラインコミュニティ, マルチエージェントシステム, 社会ネットワーク分析, IoT/M2M, WWW, 高齢者介護, 社会選択理論, グループ意思決定, 地域学, 観光学, 社会心理学, 社会学, 経済学, 行動経済学, 文化経済学, 心理学, 倫理・法律, その他の科学・学術等の社会課題応用に関する共創的な事例
- また、企業等組織内における組織開発、教育、マーケティング、製品開発等の組織における共創知に関する事例も含む

(優れた発表や共創プロジェクトには研究会からの賞の進呈も予定しています)

オーガナイザ

伊藤 孝行 (名古屋工業大学)

白松 俊 (名古屋工業大学)

藤田 桂英 (東京農工大学)

福田 直樹 (静岡大学)

三井 実 (富士ゼロックス)

堀田 竜士 (富士ゼロックス)